

「紀伊半島移住プロモーション事業」これまでの取組

【事業目的】 首都圏からの移住・定住を促進するため、同一の半島地域である奈良県・和歌山県・三重県が協働し、スケールメリットを生かし、紀伊半島を1つのエリアとして魅力をPRする移住プロモーションを実施し、情報発信力を高める。

第4ステージ 令和6年度～ 紀伊半島地域の多様なライフスタイルの提案

		令和7年度（事務局：三重県）	令和6年度（事務局：奈良県）
総事業費		10,399千円 （三県均等負担3,466千円）	6,624千円 （三県均等負担2,208千円）
内容		<p>(1) YouTubeチャンネル開設と動画作成による認知拡大 紀伊半島に縁のなかった移住者の協力を得て、密着取材およびインタビュー形式の動画を作成し配信した。本取り組みにおける主要KPIである視聴回数について、各動画ともに2.1万回～2.3万回を獲得。</p> <p>(2) 情報拡散 紀伊半島YouTubeショート動画配信と広告配信、PRTimesへのプレスリリース掲載、Webサイト内のイベント告知掲載に加え、情報マガジンTURNSでの告知掲載やFacebookやInstagramへの広告掲載・投稿を実施。</p> <p>(3) Webサイトの開設 「キーエッジ・チャレンジ」と題したWebサイトを開設。取組概要ははじめ各種情報を発信。</p> <p>(4) イベント開催 POTLUCK YAESUIにてイベント開催。動画出演者に登壇いただくトークセッションと交流会を軸に。紀伊半島でできるチャレンジの解像度をUP & 登壇者や参加者同士の交流を通じ、紀伊半島のブランドイメージを体現する場づくりを行った。</p> <p><イベント実施></p>  <p><Webサイトの開設></p> 	<p>(1) 取材記事の掲載 「まちづくり×紀伊イノベーション」「一次産業×紀伊イノベーション」「グローバル×紀伊イノベーション」をテーマとした記事を移住関連情報誌「TURNS」及び「TURNS WEB」へ掲載</p> <p>(2) ラジオ放送 TOKYO FM 「スカロケ移住促進部」にて紀伊半島への移住者をゲストに迎え紀伊半島の情報を発信</p> <p>(3) イベント実施 紀伊半島×移住関連情報誌「TURNS」×TOKYO FM 「スカロケ移住促進部」コラボイベント 紀伊半島トークセッション & 交流会を実施</p> <p>(4) SNS広告実施 TURNSのFacebook、Instagram、Xにて(1)取材記事、(3)イベント実施の広告を掲出</p>  <p><「TURNS」掲載></p>  <p><イベント実施></p>

「紀伊半島移住プロモーション事業」これまでの取組

【事業目的】首都圏からの移住・定住を促進するため、同一の半島地域である奈良県・和歌山県・三重県が協働し、スケールメリットを生かし、紀伊半島を1つのエリアとして魅力をPRする移住プロモーションを実施し、情報発信力を高める。

第3ステージ 令和3年度～ with/afterコロナを見据えた紀伊半島における新たな「暮らし方」や「働き方」の提案

	令和5年度（事務局：和歌山県）	令和4年度（事務局：三重県）	令和3年度（事務局：奈良県）			
総事業費	9,520千円 (三県均等負担3,173千円)	10,409千円 (三県均等負担3,469千円)	8,857千円 (三県均等負担2,952千円)			
内容	<p>(1) 現地滞在プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 紀伊半島地域における「ウェルビーイング」、「地域との共創」、「地域の即戦力」をテーマにした7日間の現地滞在プログラムの実施 <p>①「地域との関係創出」コース 奈良県東吉野市、和歌山県みなべ町 参加者7名</p> <p>②「地域との共創実践」コース 和歌山県田辺市・白浜町、三重県尾鷲市 参加者8名</p> <p>③「地域の即戦力育成」コース 三重県大台町・度会町、奈良県下北山村 参加者4名</p> <p>(2) オンライントークセッションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 紀伊半島地域のPRや上記プログラムの集客を目的としたオンライントークセッションの実施 参加者 37名 <p>(3) メディアによる効果的な情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ツアー集客のためのSNS広告の掲載 ツアーごとの開催レポートをSMOUTのWEBサイトに掲載 	<p>(1) 暮らし体験ツアーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 紀伊半島地域における新たな「暮らし方」や「働き方」を提案する暮らし体験ツアーの実施 <p>①農ある暮らし体験ツアー 三重県熊野市、和歌山県海南市 参加者8名</p> <p>②起業について学ぶツアー 奈良県吉野町、和歌山県かつらぎ町・田辺市 参加者7名</p> <p>③テレワーク体験ツアー 和歌山県那智勝浦町、三重県尾鷲市、奈良県東吉野村 参加者6名</p> <p>④地域づくりについて学ぶツアー 奈良県下北山村、三重県鳥羽市 参加者8名</p> <p>(2) オンラインセミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 紀伊半島地域のPRや上記ツアーの集客を目的としたオンラインセミナーの実施 参加者83名 <p>(3) メディアによる効果的な情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ツアー集客のためのSNS広告の掲載 ツアーごとの開催レポートをTURNSのWEBサイトに掲載 ツアーについて雑誌『TURNS』に掲載 	<p>(1) ワークेशन体験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥熊野（奈良県十津川村・下北山村／三重県熊野市／和歌山県田辺市本宮町）において、エリア横断型のワークेशन体験を実施 参加者10組12名 <p>(2) 地域コーディネーターの育成及び地域間連携・受入体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各エリアでの地域コーディネーターの育成（アテンド同行研修・業務研修・OJT研修等） ①奈良県十津川村（役場職員／講師） ②奈良県下北山村（役場職員） ③三重県熊野市（ゲストハウス運営） ④和歌山県田辺市本宮町（ゲストハウス運営） <ul style="list-style-type: none"> ・地域間連携及び受入体制の強化 上記「地域コーディネーター」同士の横の連携強化を図り、各県域を横断する受入体制の構築するため、オンラインにて意見交換を実施（3月16日） <p>(3) SNS等のメディアを活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各エリア及びエリア横断の紹介Note記事の配信 ・上記(1)参加者によるSNS(Instagram・Facebook等)の発信 ・地域活性化webメディア（greens）での記事配信 			
	 <p><現地滞在プログラム></p>	 <p><事後報告会></p>	 <p><雑誌「TURNS」記事></p>	 <p><暮らし体験ツアー></p>	 <p><ワークेशन体験></p>	 <p><地域コーディネーター研修></p>

「紀伊半島移住プロモーション事業」これまでの取組

【事業目的】首都圏からの移住・定住を促進するため、同一の半島地域である奈良県・和歌山県・三重県が協働し、スケールメリットを生かし、紀伊半島を1つのエリアとして魅力をPRする移住プロモーションを実施し、情報発信力を高める。

第2ステージ 平成30年度～令和2年度 紀伊半島を深く知ってもらい関わってもらう人を増やす。

	令和2年度（事務局：和歌山県）	令和元年度（事務局：三重県）	平成30年度（事務局：奈良県）
総事業費	9,734千円（三県均等負担3,245千円）	13,397千円（三県均等負担4,466千円）	13,362千円（三県均等負担4,454千円）
内容	<p>(1) キックオフイベントの開催（online）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム参加者に対してキックオフイベントを開催 ・各地域関係者と参加者との意見交換を通して、地域滞在のイメージを醸成（11月3日）参加者20組 <p>(2) オンラインイベントの開催</p> <p>参加者同士で「移住・多拠点居住を考えるきっかけ」や「移住に対する不安」など、意見交換を実施（計5回）参加者のべ32組</p> <p>(3-1) 現地滞在プログラムの実施</p> <p>地域の仕事のお手伝いを通して、地域住民とのコミュニケーションを図り、地域の魅力・課題を認識</p> <p>和歌山県 田辺市本宮町で実施 三重県 尾鷲市で実施 奈良県 吉野町で実施 参加者12名</p> <p>※コロナの影響により、12月下旬～受入中止</p> <p>(3-2) オンラインバーチャルツアーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現地滞在」の代替として、地域の魅力や地域住民を紹介するオンラインツアーを開催 ・地域の特産品に触れ、「現地」を感じてもらうことにより、来訪意欲を醸成 参加者19組 <p>(4) 最終報告会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地滞在を通じて「より移住や多拠点居住がしやすい地域になるため」の提案を発表 ・オンラインツアーを通じて「コロナ禍における地域発信を魅力的に発信するため」のアイデアを共有（2月25日）参加者9組 <p>＜キックオフイベント＞ （online）</p>  <p>＜現地滞在＞</p> 	<p>(1) 首都圏キックオフイベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都において「紀伊半島はたらく・くらすプロジェクト」キックオフイベントを開催（10月17日） ・各地域コーディネーターが現地の概要や体験プログラムの内容をPRし、参加者と交流 参加者11名 <p>(2) 「紀伊半島はたらく・くらすプロジェクト」の現地開催</p> <p>「暮らす、働く」を実践し、2拠点居住や副業（兼業）、関係人口を創出する中で「移住」の可能性を探るべく現地プログラムを実施（11月11日～12月6日）</p> <p>三重県 尾鷲市で実施（11月11日～11月20日）参加者18名 奈良県 下北山村で実施（11月19日～11月28日）参加者11名 和歌山県 田辺市で実施（11月27日～12月6日）参加者15名</p> <p>(3) 首都圏報告イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都において、「紀伊半島はたらく・くらすプロジェクト」output報告会を開催（12月19日）参加者19名 <p>＜首都圏キックオフイベント＞</p>   <p>＜現地体験プログラム＞</p>  	<p>(1) 週末お試し移住体験ツアーの実施</p> <p>各県においてそれぞれのターゲット層に応じたモニターツアーを各2回開催</p> <p>○奈良県 下北山村 OL・働く女性3名/フリーランス 3名</p> <p>○和歌山県 田辺市・白浜町 フリーランス2名 有田市・有田川町・海南市 OL・働く女性3名</p> <p>○三重県 松阪市 子育て世帯 3名 亀山市 子育て世帯 4名</p> <p>(2) 紀伊半島カフェイベントの開催</p> <p>「週末お試し移住体験ツアー」の参加者や先輩移住者が体験談、紀伊半島の魅力を語るイベントを都内で開催（3月9日）</p> <p>第1部 紀伊半島ライフを語り合おう 場所：tiny peace kitchen 参加者11名</p> <p>第2部 kii Life in Tokyo 場所：リトル・トーキョー 参加者25名</p> <p>(3) 市民参加型のWEBやSNS等を活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「紀伊半島サポーターズ・コミュニティ」立ち上げ ・首都圏、地元住民で紀伊半島の魅力発掘隊を育成するスクーリング（養成塾）の開催 <p>奈良県 下北山村で実施（12月15日）参加者28名 和歌山県 田辺市で実施（1月19日）参加者44名 三重県 尾鷲市で実施（1月26日）参加者17名 首都圏「紀伊半島魅力発掘サミット」の開催（3月2日）参加者29名</p> <p>＜週末お試し移住体験ツアー＞</p>  <p>＜カフェイベント＞</p> 

「紀伊半島移住プロモーション事業」これまでの取組

【事業目的】首都圏からの移住・定住を促進するため、同一の半島地域である奈良県・和歌山県・三重県が協働し、スケールメリットを生かし、紀伊半島を1つのエリアとして魅力をPRする移住プロモーションを実施し、情報発信力を高める。

第1ステージ 平成27年度～29年度 紀伊半島の移住に関して認知度を向上させるためのプロモーション

	平成29年度（事務局：和歌山県）	平成28年度（事務局：三重県）	平成27年度（事務局：奈良県）
総事業費	14,507千円(三県均等負担4,836千円)	14,641千円(三県均等負担4,880千円)	14,885千円(三県均等負担4,962千円)
内容	<p>(1)WEBを中心としたメディアミックスによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・asoview!での移住×体験特集ページ開設 ・趣味と仕事を両立した新たなライフスタイルの提案動画の配信 ・「PEAKS」「ランドネ」「NALU」「Discover Japan」での移住者紹介記事掲載 <p>(2)首都圏在住の20代～30代をターゲットとした「しごと」や「働き方」をテーマにしたイベントの実施</p> <p>①渋谷キャストでのトークショーイベント（1月20日/参加者44名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「人生を謳歌する為の移住」 ・趣味誌の編集部員と趣味がきっかけで移住に至った方のトークイベント ・紀伊半島の食材を生かした、投弾者・来場者との懇親会 <p>②渋谷キャストでのトークショーイベント（2月24日/参加者43名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「紀伊半島でみつけた、自分らしい仕事と働き方」 ・地域の魅力を生かした働き方、またフリーランサーの移住者トークイベント ・紀伊半島の食材を生かした、投弾者・来場者との懇親会 <p>トークセッション参加者数 べ87名</p>  <p>＜趣味雑誌＞</p>  <p>＜動画制作＞</p>  <p>＜移住者トークイベントの様子（渋谷キャスト）＞</p>	<p>(1)紀伊半島地域で「働く」ことをテーマとした企画の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京在住のクリエイターに紀伊半島での暮らしを体験してもらうモニターツアーの実施及び発信 <p>(2)紀伊半島地域での働き方や暮らしなどを専門誌やインターネット等複数の媒体でPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑誌『Discover Japan』11月号、1月号、3月号での紀伊半島での暮らしを体験してもらうモニターツアーに関する記事掲載 ・雑誌『ランドネ』3月号での三県移住者に関する記事掲載 ・『Discover Japan』ウェブサイト内特設ページ、フェイスブックでの情報発信 ・抜き刷り冊子制作 <p>(3)都内の飲食店等における一定期間の移住プロモーション事業の実施</p> <p>①渋谷シティラウンジでのプロモーション（2月6日～3月14日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀伊半島の移住者の日常を捉えた写真を中心に店内装飾(パネル展示・ランチョンマット等)を実施 ・紀伊半島の食材を使用したメニューの提供(提供例:紀伊半島3種のごちそう丼セット) ・三県移住者及び三県へのモニターツアー参加者によるトークイベント開催（3月4日/参加者60名） <p>②丸の内ハウス内3店舗（MUSMUS・来夢来人・TIKIBAR）でのプロモーション（2月20日～3月5日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀伊半島の移住者による3県の魅力発信ポスター等の掲載 ・紀伊半島の食材を使用したメニューの提供(提供例:紀伊半島ばっかり蒸しセロごはん) ・三県移住者トークセッション等のイベントの開催（3月1日/参加者31名） <p>トークセッション参加者数 べ91名</p>  <p>＜抜き刷り冊子＞ ＜ランチメニュー＞ （渋谷シティラウンジ）</p>  <p>＜移住者トークイベントの様子（MUSMUS）＞</p>	<p>(1)渋谷シティラウンジ店舗連動型イベントの実施</p> <p>①渋谷ロフト2階「渋谷シティラウンジ」にてPR（1月5日～1月31日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示・ランチョンマット等による店内装飾 ・紀伊半島エリア食材を使った料理提供 提供例:紀伊半島のごちそうプレート （三重県伊勢まじりの岩塩グリル、和歌山県めはり寿司・紀州うめ鶏のエスカベッシュ、奈良県いちごマカロンを盛り合わせたプレート） <p>②三県移住者によるトークセッション（1月30日/参加者98名）</p> <p>③渋谷ロフト1階「間坂ステージ」での特産品等展示・販売（1月13日～1月27日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルやパンフレット等の情報媒体の展示に加え、3県を代表する品々の展示販売も実施 （上記期間中に183点25万円超の売上） <p>④雑誌「Discover Japan」による広報</p> <p>⑤抜き刷りパンフレットの作成</p>  <p>(2)三重テラスでの移住者トークセッション（1月23日） ＜雑誌「TURNS」記事＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三県移住者によるトークセッション（参加者35名） ②雑誌「TURNS」による広報 <p>トークセッション参加者数 べ133名</p>  <p>＜間坂ステージ(渋谷ロフト)で販売＞</p>  <p>＜渋谷シティラウンジ＞</p>